

「自分軸でデザインするキャリア」 -アンコンシャス・バイアスへの挑戦-

「今の私でいいの?」「建設業界で女性はどうキャリアアップが望めるの?」「キャリアアップしたいけれど、ライフイベントと両立できるのか不安…」。「働く女性が多くなってきた時代の変化と共に、様々な考えで自分のキャリアを模索する方が増えてきました。女性のキャリア形成を支援する社会的な動きも加速し、「出産・育児を経ても、キャリアを維持したい」「学びを深めて、専門職としてキャリアアップしたい」といった声も聞かれるようになりました。

AEC本社では「国際女性デー」の理念に共感し、女性社員に焦点を当てた企画を毎年続けています。今年のテーマは『自分軸でデザインするキャリア』。研修講師にキャリアコンサルタントの浦亜弓さんをお招きし、キャリア形成において無視できない「アンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）」にフォーカスした内容が展開されました。

なんとなく思い浮かべていた未来の自分から、自分の可能性を見つけ出し、凝り固まった自分の姿を Re-デザインする研修となりました。



◀▲研修講師の浦亜弓先生。事例を交えたお話と丁寧なファシリテーションで、終始和やかな雰囲気の中、参加者一人ひとりが深く考えるきっかけになりました。

◆たとえば、こんな“思い込み”に心当たりはありますか？

「管理職になるには長時間働ける人でないといけない」「ワークライフバランスを重視すると、昇進のチャンスを逃してしまう」「育児中はキャリアより家庭を優先すべき」

こうした社会的な“前提”が、無意識のうちに女性のキャリアを制限しているケースは少なくありません。本研修では、こうした100%自分軸でキャリアをデザインできない「見えない制約 アンコンシャス・バイアス」についてディスカッションし、柔軟な思考と行動力を整理していく時間になりました。



▲部署の垣根を越えたメンバーによるディスカッションは各テーブルで大いに盛り上がり、4時間にわたる研修もあっという間に感じられるほど、充実した時間となりました。

参加者同士で意見交換を行う時間もあり、他者の価値観や悩みに触れることで視野を広げる機会にもなりました。

実際に参加された方からは、「自分が選んだ道を正解にしていく努力」という言葉が印象的で自分を見つめ直すことで新たな世界が見えてくると気づいた」「今やるべきことや今後のビジョンを思い描くことができた」など、前向きな声が多く寄せられました。



午前の部、午後の部の2回のセッションが行われ、合計で101名の女性社員が参加しました。セッションの最後には、地元で人気のパンのおみやげも。

◆弊社社長あいさつでは、「女性が活躍しやすい環境づくりを、進めたい」と、今後もAECが積極的に女性のキャリアアップを支援する、前向きなメッセージがありました。



AECでは、すべての社員が自分らしく働き、自分らしく成長、自分らしくいられる職場環境を提供できるよう、これからも日々邁進してまいります。